

琉球舞踊・空手でフィットネス

伝統文化生かし「健康旅行」

PHG、琉大と組み開発

スパ施設を運営するパシフィック・ホスピタリティー・グループ(PHG、那覇市、佐藤健社長)は、琉球大学(西原町)と組んで沖縄の伝統文化を活用した健康旅行商品を開発する。滞在中に琉球舞踊や琉球空手を取り入れたフィットネスや沖縄の島野菜を使ったヘルシーな食事を提供。今年度にモニターツアーで実証実験し、2011年度の商品化を目指す。



琉球舞踊でバランス感覚や筋力向上を目指す

PHGと琉球大が開発する滞在型旅行商品「島すば・島プログラム」は沖縄の伝統文化を体験しながら、ダイエットやアンチエイジング(抗加齢)、美容などを促す。例えば琉球舞踊を活用したフィットネスは琉球舞踊ならではの動きでバランス感覚を身に付け、

正しい姿勢の確保や筋力向上を図る。また、琉球空手の動作を取り入れたヨガや水中運動など計4

つのプログラムを計画。すべて専門のインストラクターを配置する。食事もゴーヤーやモズクなど体に良いとされる沖縄の食材を使い、カロリー計算を徹底する。PHGは今年度、浜比嘉島(うるま市)でモニターツアーを開催、県内外からホテルやメディア関係者ら約60人の参加者

を募る。ツアーの体験前と後に体脂肪やストレス度合いの変化を計測、琉球大と共同で科学的根拠に基づいた旅行商品を開発していく方針だ。11年度には県内リゾートホテルや旅行会社向けに新しい観光素材として本格販売する。料金は5泊6日で1人18万円前後で、宿泊と食事、計6回

のプログラムとオイルを使ったマッサージが含まれる。初年度の売り上げ目標は約1000万円。佐藤社長は「沖縄観光はきれいな海だけではなく、リゾート地と差別化が難しく、沖縄独自の資源を生かした健康、癒やし体験が求められている」と話す。PHGは06年設立。年商は約1億円。